



報道関係者 各位

2010年12月03日

～マルハニチロホールディングス、「鮭に関する意識調査」～

おいしいと思うコンビニのおにぎり 1位「ツナマヨ」2位「鮭」
毎日食べても飽きないコンビニのおにぎり 「鮭（サケ）」、「ツナマヨ」との接戦を制し1位

朝ごはんに出てきて欲しい焼き魚 「鮭」が圧倒的1位
海鮮丼に入っていないと寂しいと思うもの 1位「いくら」
食べたいフィッシュバーガー 1位「鱈」2位「鮭」3位「鮪」

鮭を食べている頻度 「月1日以上」約9割

鮭の呼び方 「さけ」38.2%、「しゃけ」61.8%
鮭の缶詰 「骨まで食べている」77.0%

鮭に期待する健康や美容への効果 女性は「美肌」、男性は「血液サラサラ」

株式会社マルハニチロホールディングス (<http://www.maruha-nichiro.co.jp/>) (所在地：東京都千代田区大手町1-1-2 代表取締役社長 久代 敏男) は、2010年11月14日～11月17日の4日間で市場調査を実施し、15歳以上の男女に対し、「鮭に関する意識調査」をインターネットリサーチ（モバイルリサーチ）で実施し、1,000名の有効回答サンプルを集計しました。

「鮭に関する意識調査」 調査結果

- ◆おいしいと思うコンビニのおにぎり 1位「ツナマヨ」2位「鮭」
- ◆コンビニのおにぎり 「すじこ」人気に大きな地域差
- ◆毎日食べても飽きないコンビニのおにぎり 「鮭」、「ツナマヨ」との接戦を制し1位
- ◆おふくろの味として最初に思い浮かぶおにぎり 1位「梅」2位「鮭」

全回答者（1,000名）に、おいしいと思う「コンビニのおにぎり」を聞きましてところ、全体では「ツナマヨ」が最も多く59.6%、次いで「鮭」54.7%、「明太子」47.4%、「とり五目」44.2%、「昆布」38.0%が続きました。年代別に見ると、「40代・50代」では「鮭」が最も多く57.4%という結果となりました。

また、エリア別に見て特徴が見られたのは、「すじこ」で、北海道・東北エリアでは33.5%、関東エリア20.0%、中部エリア11.5%、近畿エリア3.5%、中国・四国・九州エリア7.0%と、最も多い北海道・東北エリアと最も少ない近畿エリアの差は30.0ポイントとなり、関東以北で多いことが分かりました。

同じく全回答者（1,000名）に、毎日食べても飽きないと思う「コンビニのおにぎり」を聞きましてところ、全体では「鮭」が最も多く36.8%、次いで「ツナマヨ」34.9%、「梅」30.9%、「明太子」27.9%、「昆布」24.8%が続きました。年代別に見ると、「ツナマヨ」で差が見られ、「10代・20代」では47.3%、30代では38.4%、「40代・50代」では22.4%となりました。

エリア別に見て特徴が見られたのは、おいしいと思うコンビニのおにぎりと同様に「すじこ」で、北海道・東北エリアでは19.5%、関東エリア10.0%、中部エリア4.5%、近畿エリア2.0%、中国・四国・九州エリア3.0%となっており、最も多い北海道・東北エリアと最も少ない近畿エリアの差は17.5ポイントとなりました。また、「昆布」でもエリアによる差が見られ、北海道・東北エリアでは16.5%、関東エリア20.5%、中部エリア24.5%、近畿エリア33.5%、中国・四国・九州エリア29.0%となっており、最も多い近畿エリアと最も少ない北海道・東北エリアの差は17.0

ポイントとなりました。

続いて、全回答者（1,000名）に「おふくろの味」として最初に思い浮かぶおにぎりを聞きましたところ、全体では「梅」37.8%が最も多く、次いで「鮭」17.7%、「おほか」14.7%となりました。

◆朝ごはんに出てきて欲しいと思う焼き魚 「鮭」が圧倒的1位

◆海鮮丼に入っていないと寂しいもの 1位「いくら」

◆お正月に欠かせない魚 1位「鯛」、「鮭」は4位

◆牛丼チェーン店の一番好きな朝食サイドメニュー 1位は「たまご」、近畿では「鮭」

◆食べたいフィッシュバーガー 1位「鱈」2位「鮭」3位「鯖」

全回答者（1,000名）に、朝ごはんに出てきて欲しいと思う焼き魚を聞きましたところ、全体では「鮭（サケ）」が最も多く57.0%、次いで「鱈（アジ）」11.2%、「柳葉魚（シシャモ）」7.3%という結果となりました。年代別に「鮭（サケ）」を見ると、「10代・20代」では51.7%、30代56.7%、「40代・50代」61.3%。また、エリア別に見ると、北海道・東北エリアでは65.0%、関東エリア54.0%、中部エリア55.0%、近畿エリア58.5%、中国・四国・九州エリア52.5%となっており、どの年代、どのエリアでも半数以上を超え、鮭の朝ごはんのおかずとしての人気の高さが窺えました。

また、全回答者（1,000名）に、海鮮丼に入っていないと寂しいと感じるものを聞きましたところ、全体では「いくら」が最も多く54.9%、次いで「まぐろ赤身」48.5%、「海老（エビ）」44.2%、「サーモン」32.9%、「うに」32.7%という結果となりました。男女間で差が見られたのは「サーモン」「海老（エビ）」で、「サーモン」では男性27.2%、女性38.6%と11.4ポイント差、「海老（エビ）」では男性39.2%、女性49.2%と10.0ポイント差で、それぞれ女性が高くなっていました。

続いて、全回答者（1,000名）に、お正月料理に欠かせない魚を聞きましたところ、全体では「鯛（タイ）」36.1%が最も多く、次いで「鰯（ブリ）」29.3%、「鱈（ニシン）」17.7%、「鮭（サケ）」16.2%、「鱈（タラ）」13.9%が続きました。エリア別に「鮭（サケ）」を見ると、中部エリア、関東エリアでは他のエリアより多くなっており、中部エリアでは26.0%、関東エリアでは20.5%となりました。

全回答者（1,000名）に、牛丼チェーン店の朝食サイドメニューのおかずで一番好きなものを聞きましたところ、全体では「たまご」17.4%が最も多く、「鮭（サケ）」11.7%、「納豆」9.3%が続きました。エリア別に見ると、近畿エリアでは「鮭（サケ）」が最も多く20.0%と他のエリアに比べ支持率が高い結果となりました。

また、全回答者（1,000名）に、ハンバーガーチェーン店で食べたいと思うフィッシュバーガーを聞きましたところ、最も多かったのは「鱈（タラ）」で23.9%、次いで「鮭（サケ）」15.8%、「鯖（マグロ）」11.4%が続きました。エリア別に見ると、中国・四国・九州エリアでは、「鱈（タラ）」と「鮭（サケ）」が最も多く14.5%、次いで「鰈（カレイ）」8.5%が続きました。

◆鮭を食べている頻度 「月1日以上」約9割

◆鮭の呼び方 「さけ」38.2%、「しゃけ」61.8%

◆日頃食べている鮭の種類 「紅鮭」61.7%でトップ

「どれを食べているかわからない」は2割強

◆あなたは「いくら派」？ それとも「すじこ派」？

◆鮭の缶詰 「骨まで食べている」77.0%

全回答者（1,000名）に、鮭をどれくらいの頻度で食べているか聞きましたところ、全体では「ほぼ毎日」1.9%、「週4-5日程度」2.3%、「週2-3日程度」15.4%、「週1日程度」27.9%となり、それらを合わせた『週1日以上』は47.5%、『週1日以上』に「月に2-3日程度」30.8%、「月に1日程度」11.1%を合わせた『月1日以上』は89.4%という結果となりました。また、「それ以下の

頻度（月に1日以下の頻度）」は8.8%、「全く食べない」1.8%となりました。

また、全回答者（1,000名）に、鮭の呼び名としてより頻繁に使っているものを聞きましたところ、全体では「さけ」38.2%、「しゃけ」61.8%となり、「しゃけ」が多く使われていることが分かりました。しかし、エリア別に見ると、中部エリアでは「さけ」49.0%、「しゃけ」51.0%と差は2.0ポイントで、どちらも同じくらい使われているようです。

鮭を食べている回答者982名に、食べている鮭の食品を聞きましたところ、全体では「切り身を調理したもの」67.9%、「鮭のフレーク」47.9%、「刺身」42.9%、「いくら・すじこ」34.2%、「スモークサーモン」16.8%となりました。

地域別に見て特徴が見られたのは、「いくら・すじこ」で、北海道・東北エリアでは49.7%、関東エリア40.8%、中部エリア36.4%、近畿エリア25.3%、中国・四国・九州エリア18.9%となっており、北にいくにつれ高くなっていました。

また、同じく982名に、日頃食べている鮭を聞きましたところ、全体では「紅鮭」61.7%が最も多く、次いで「トラウトサーモン（サーモントラウト、トラウト）」29.3%、「銀鮭」24.7%、「マスノスケ（キングサーモン）」23.0%が続きました。また、「どれを食べているかわからない」は23.8%で2割強との結果となりました。

「切り身を調理したもの」を食べると回答した667名に、どのように調理されたものを食べているか聞きましたところ、全体では「塩焼き」88.5%が最も多く、次いで「ムニエル」38.8%、「バター焼き」35.4%、「ホイル焼き」33.9%、「フライ」23.8%が続き、焼き魚が上位となりました。

「いくら・すじこ」を食べると回答した336名に、「いくら」と「すじこ」ではどちらを多く食べているか聞きましたところ、全体では「いくらの方が多い」69.9%、「どちらも同じくらい」9.8%、「すじこの方が多い」18.2%、「わからない」2.1%となり、「いくら」の方が多く食べられていることが分かりました。しかし、エリア別に見ると、北海道・東北エリアでは、「いくらの方が多い」41.8%、「すじこの方が多い」38.8%と差は3.0ポイントであり、「どちらも同じくらい」も16.3%となっており、他のエリアよりも「いくら」と「すじこ」の食べる頻度に差が少ないことが分かりました。

鮭の缶詰は骨まで食べることができます。「鮭の缶詰」を食べると回答した113名に、骨まで食べているか聞きましたところ、全体では「骨まで食べている」は77.0%となりました。また、「骨も食べられることは知っていたが、食べていない」は14.2%で、「骨まで食べている」と合わせた骨まで食べられることを知っていた割合は91.2%と9割強、「骨も食べられるとは知らなかった」は8.8%となっていました。

◆鮭に期待すること 「おいしさ」「食べやすさ」「安さ」

◆鮭に期待する健康や美容への効果 女性は「美肌」、男性は「血液サラサラ」

鮭を食べている回答者982名に、鮭に期待することを聞きましたところ、全体では「おいしさ」71.4%が最も多く、次いで「食べやすさ」52.3%、「安さ」43.2%、「調理が簡単なこと」39.2%、「色々な調理に使えること」32.8%という結果となりました。

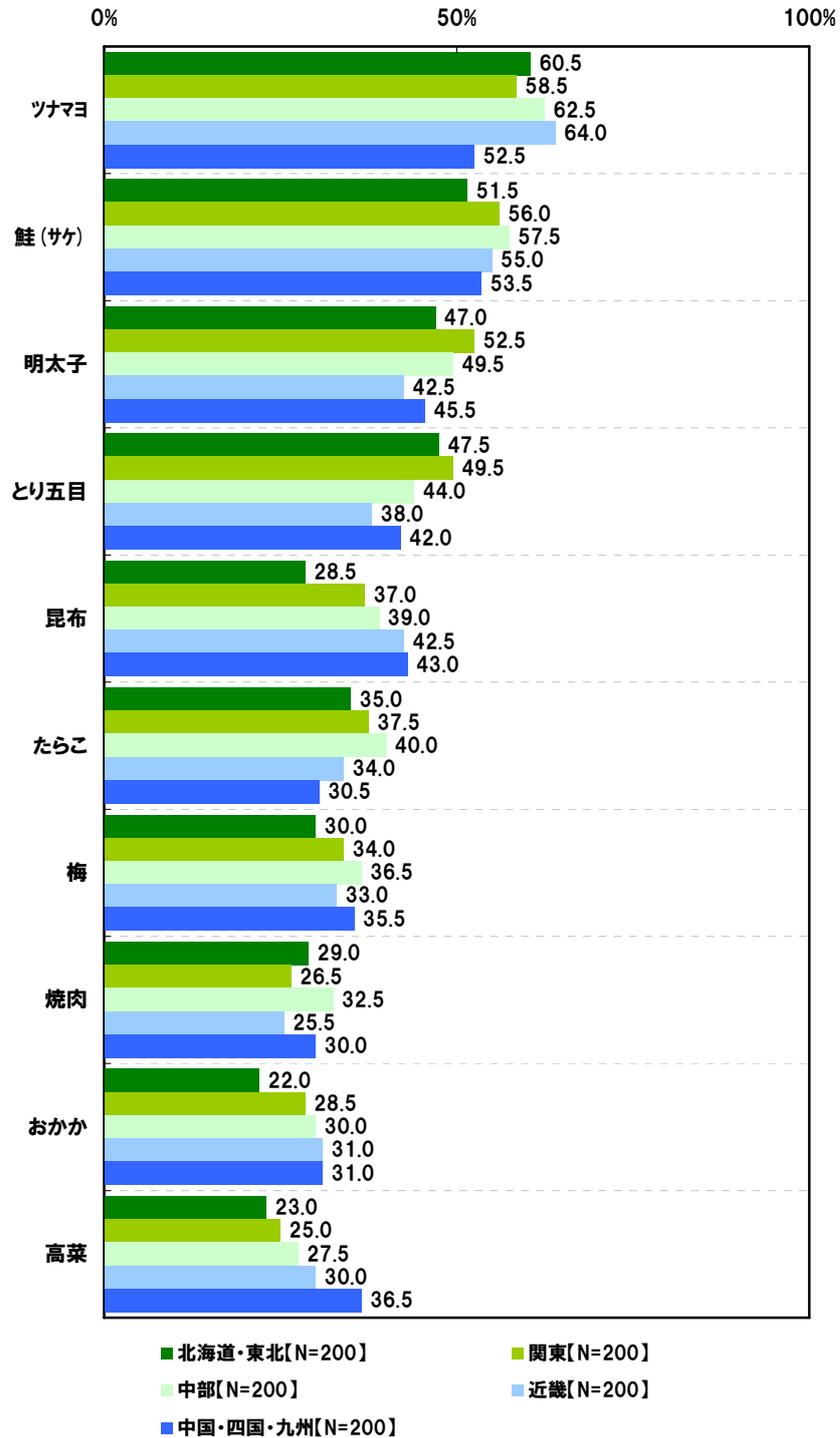
また、鮭に期待することとして「健康・美容、身体への様々な効果」と回答した152名に、具体的にどのようなことを期待しているか聞きましたところ、全体では「血液をサラサラにする（脳血栓や心筋梗塞の予防）」46.7%、「美肌効果」44.7%、「老化防止・アンチエイジング」40.8%となりました。男女別に見ると、女性では「美肌効果」が最も多く63.5%、次いで「老化防止・アンチエイジング」44.7%、「血液をサラサラにする（脳血栓や心筋梗塞の予防）」43.5%となり、男性では「血液をサラサラにする（脳血栓や心筋梗塞の予防）」50.7%が最も多く、「骨や歯を丈夫にする」41.8%、「動脈硬化の防止」41.8%が続きました。

◆鮭に含まれると知っていた栄養成分 「DHA（ドコサヘキサエン酸）」が4割でトップ

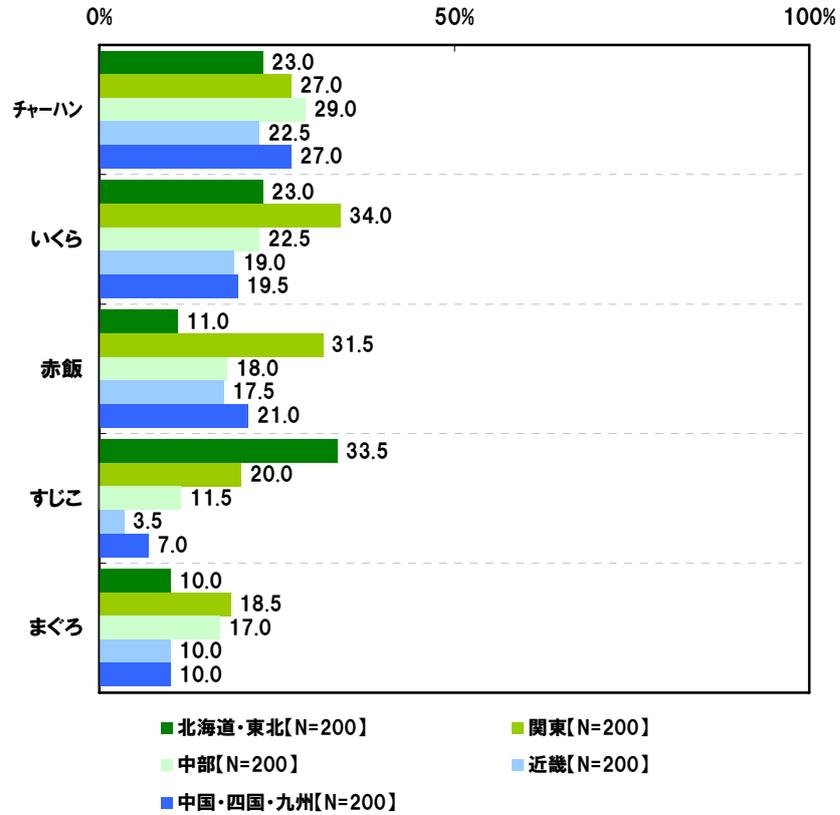
全回答者（1,000名）に、効能まで知っている栄養成分を聞きましたところ、「DHA（ドコサヘキサエン酸）」53.3%が最も多く、次いで「カルシウム」52.2%、「鉄」42.4%、「コラーゲン」39.7%が続きました。

また、鮭に含まれている栄養成分として知っているものを聞きましたところ、「DHA（ドコサヘキサエン酸）」が最も多く40.0%、次いで「カルシウム」17.8%、「EPA（エイコサペンタエン酸）」14.6%が続きました。

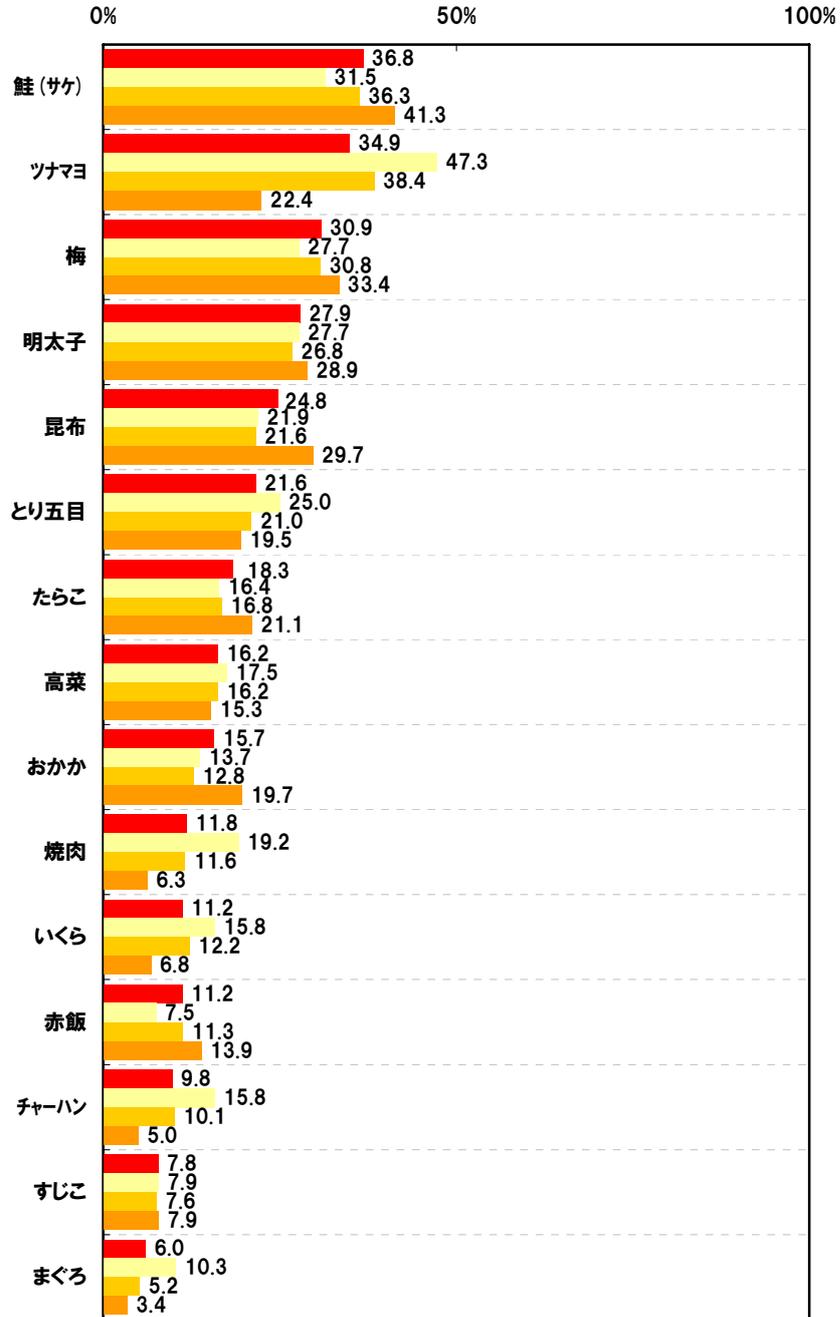
◆おいしいと思う「コンビニのおにぎり」(複数回答形式)
_エリア別(全体1位~10位)



◆おいしいと思う「コンビニのおにぎり」(複数回答形式)
エリア別(全体11位~15位)

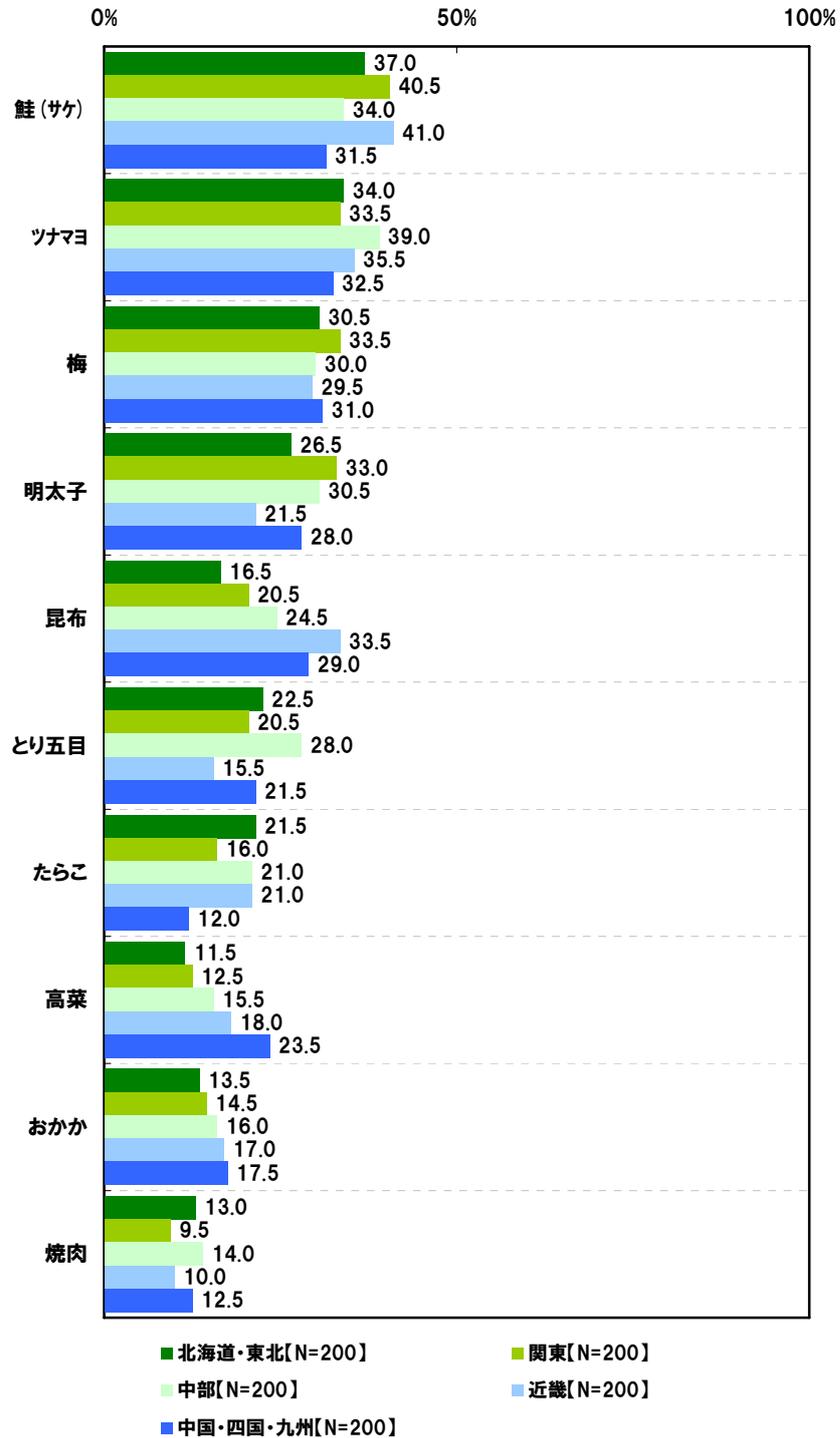


◆毎日食べても飽きないと思う「コンビニのおにぎり」(複数回答形式)
_全体・年代別
※上位15位までを抜粋

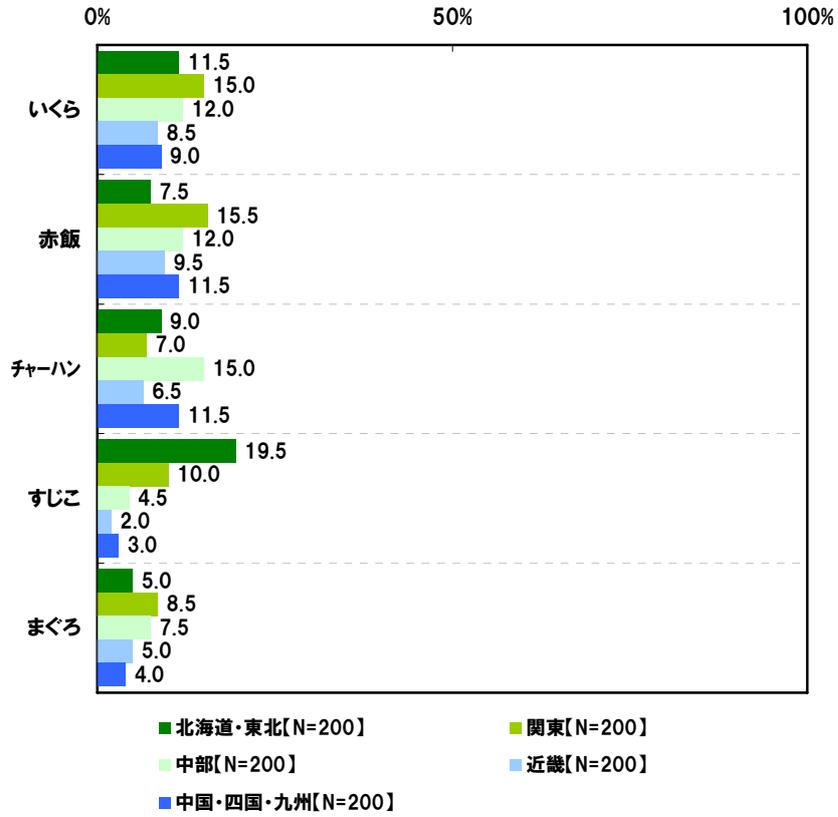


■ 全体[N=1000] ■ 10代・20代[N=292]
■ 30代[N=328] ■ 40代・50代[N=380]

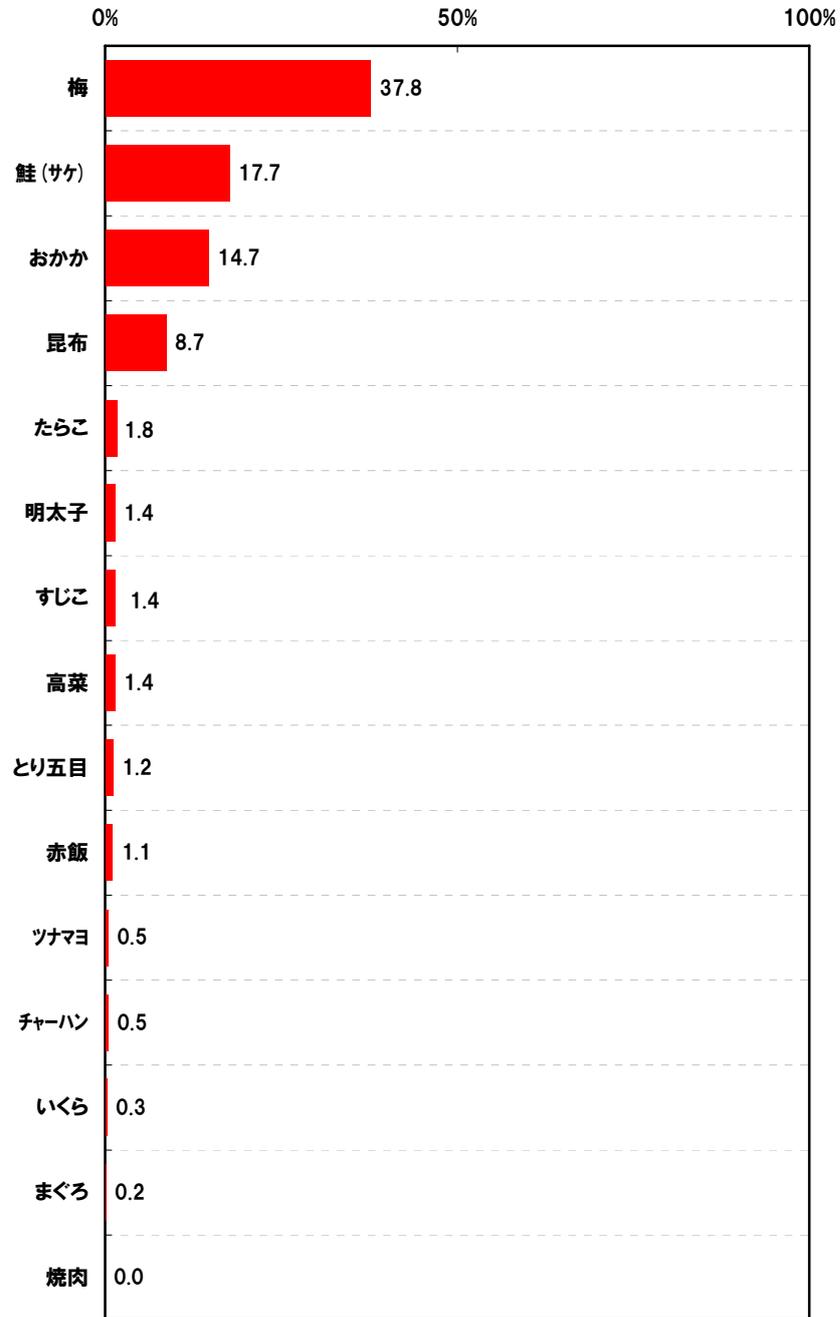
◆毎日食べても飽きないと思う「コンビニのおにぎり」(複数回答形式)
_エリア別(全体1位~10位)



◆毎日食べても飽きないと思う「コンビニのおにぎり」(複数回答形式)
_エリア別(全体11位~15位)

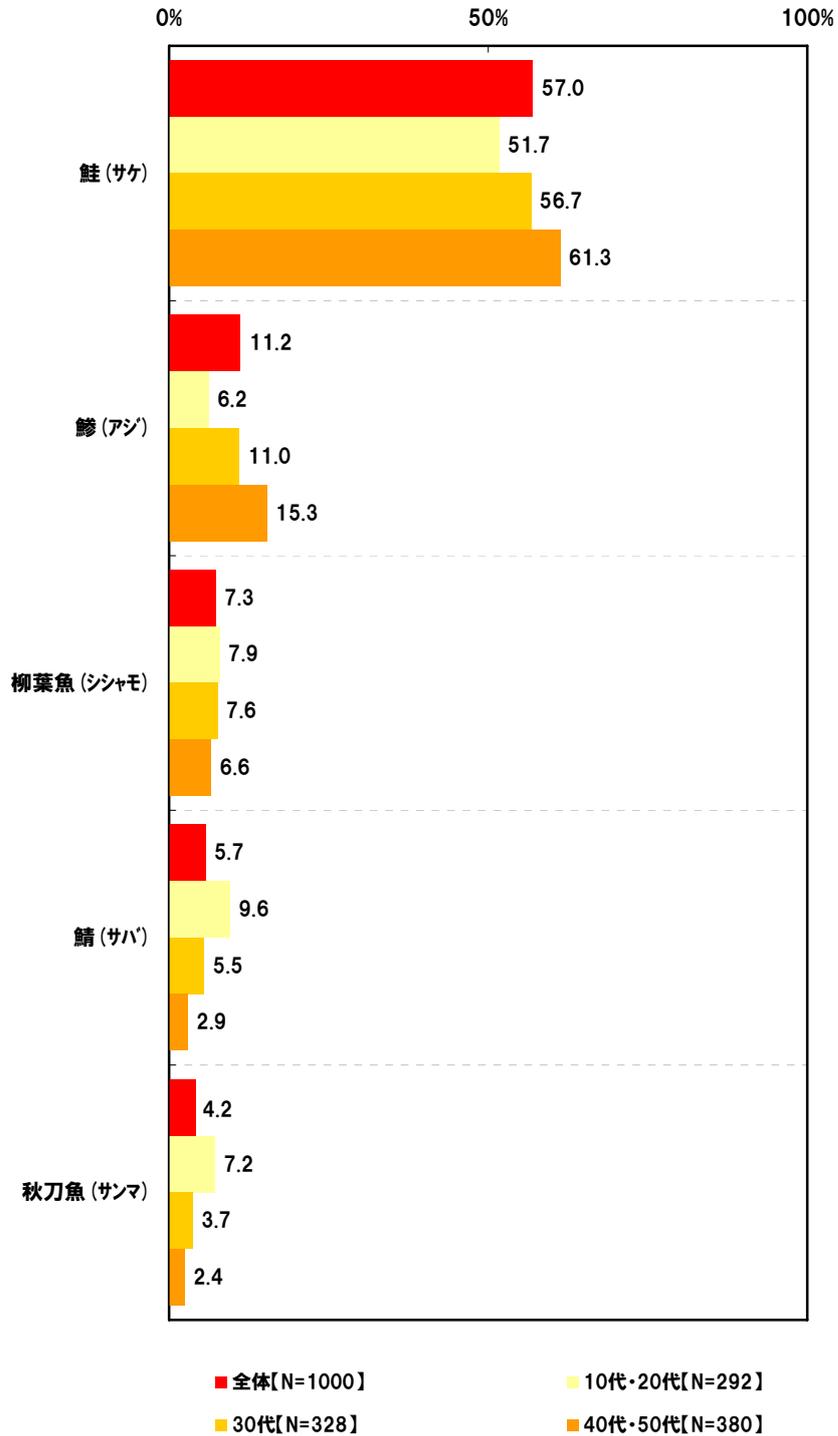


◆「おふくろの味」として最初に思い浮かぶおにぎりに(単一回答形式)
全体

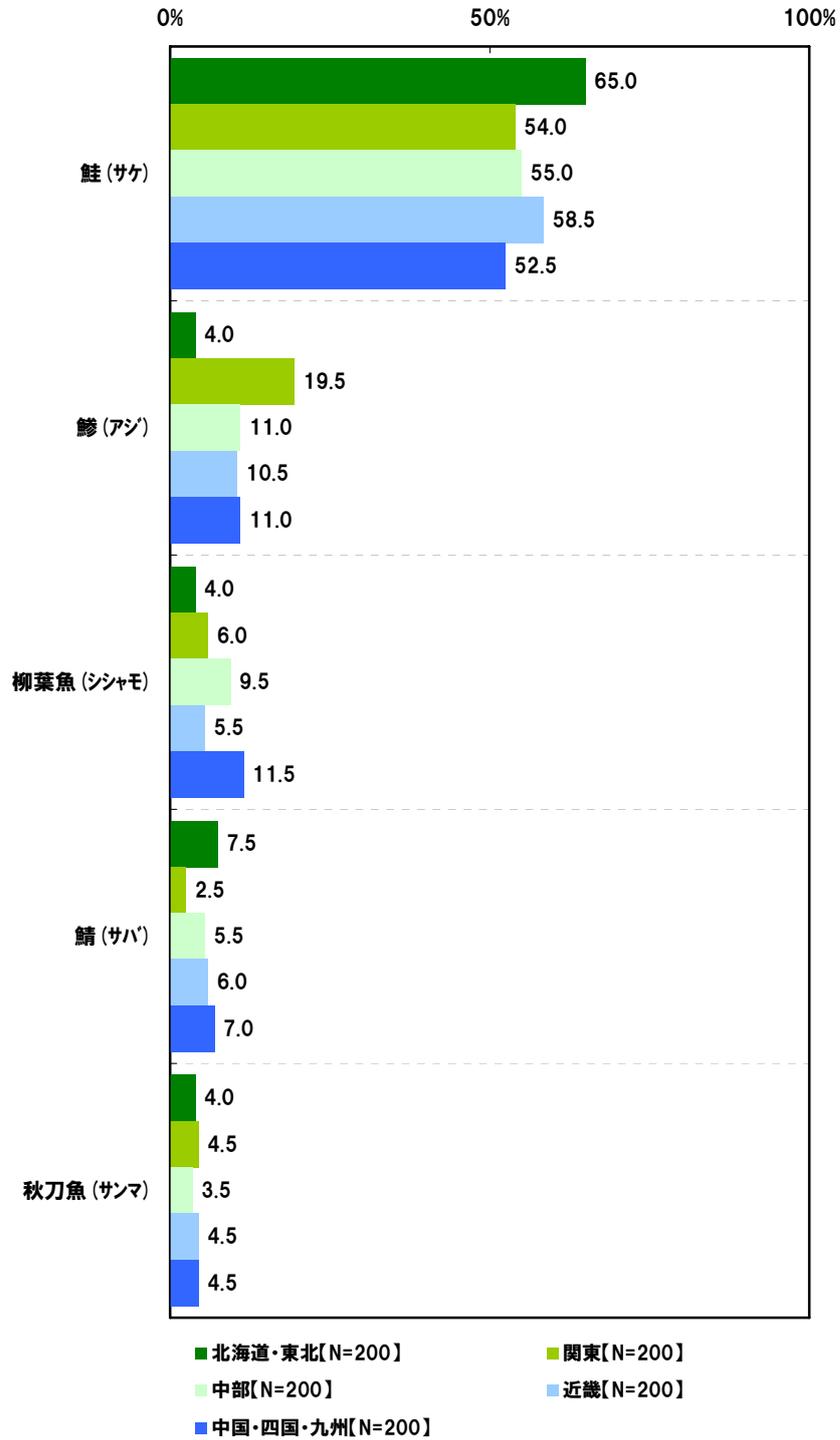


■全体[N=1000]

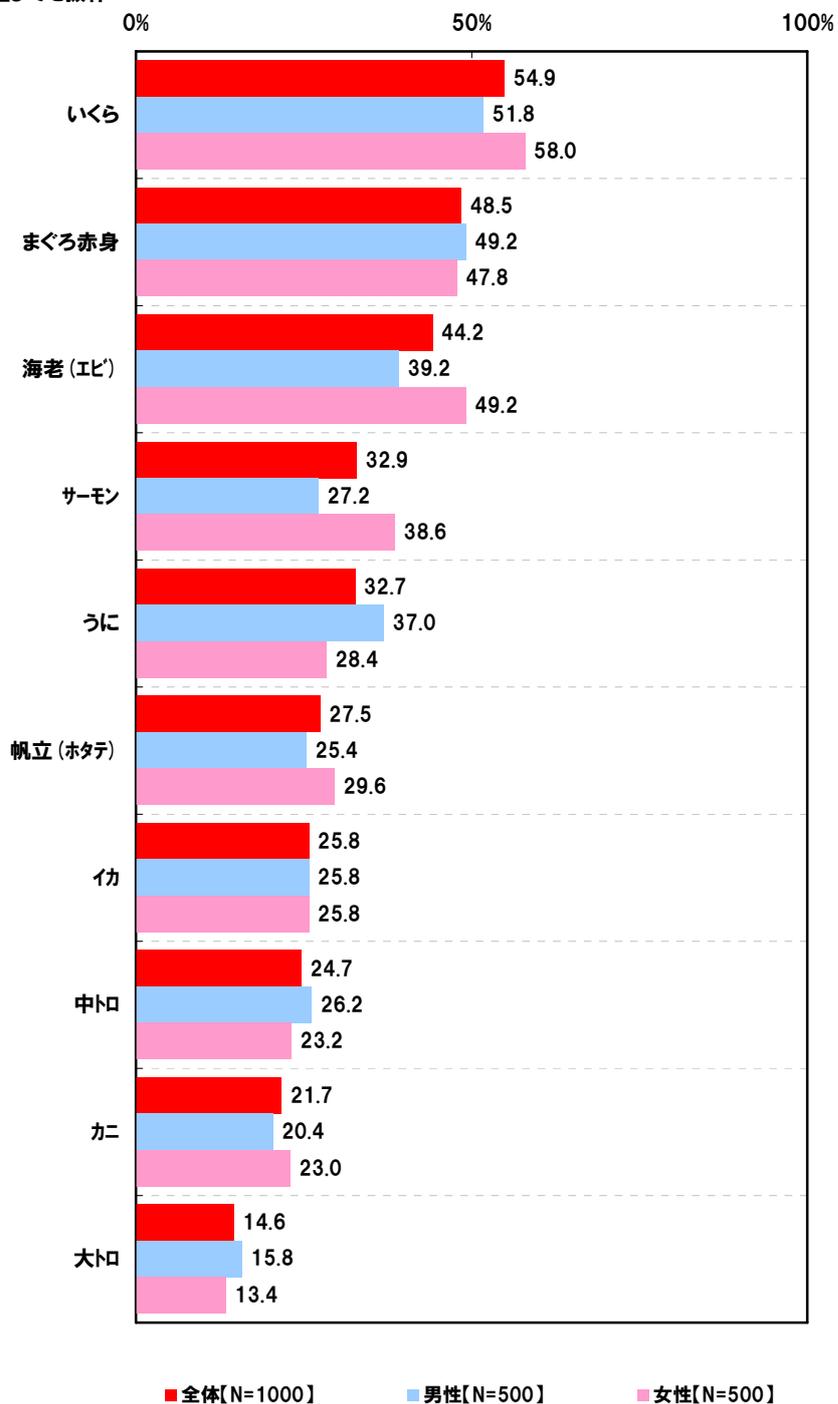
◆朝ごはんに出てきて欲しいと思う焼き魚(単一回答形式)
 全体・年代別
 ※上位5位までの抜粋



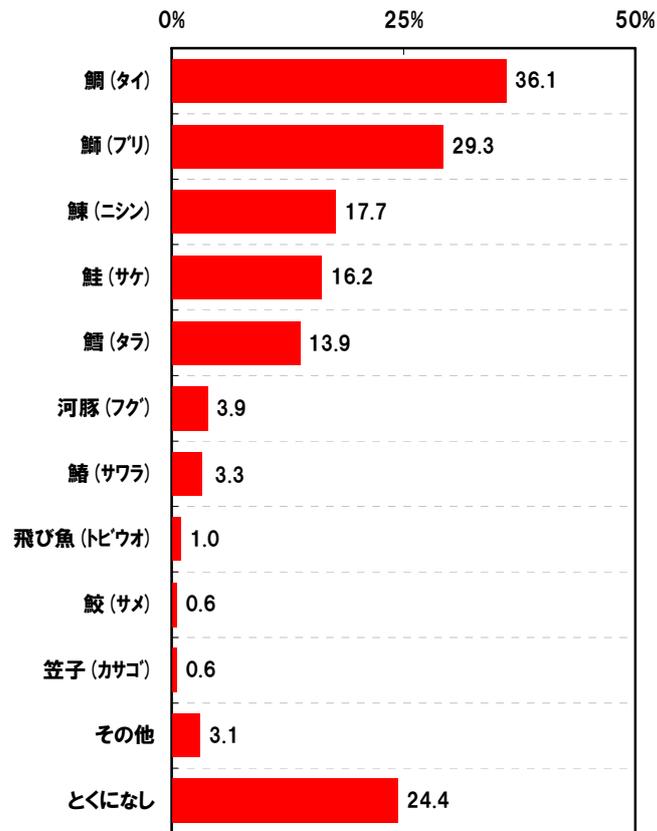
◆朝ごはんに出てきて欲しいと思う焼き魚(単一回答形式)
エリア別
※上位5位までを抜粋



◆海鮮丼に入っていないと寂しいと感じるもの(複数回答形式)
 全体・男女別
 ※上位10位までを抜粋

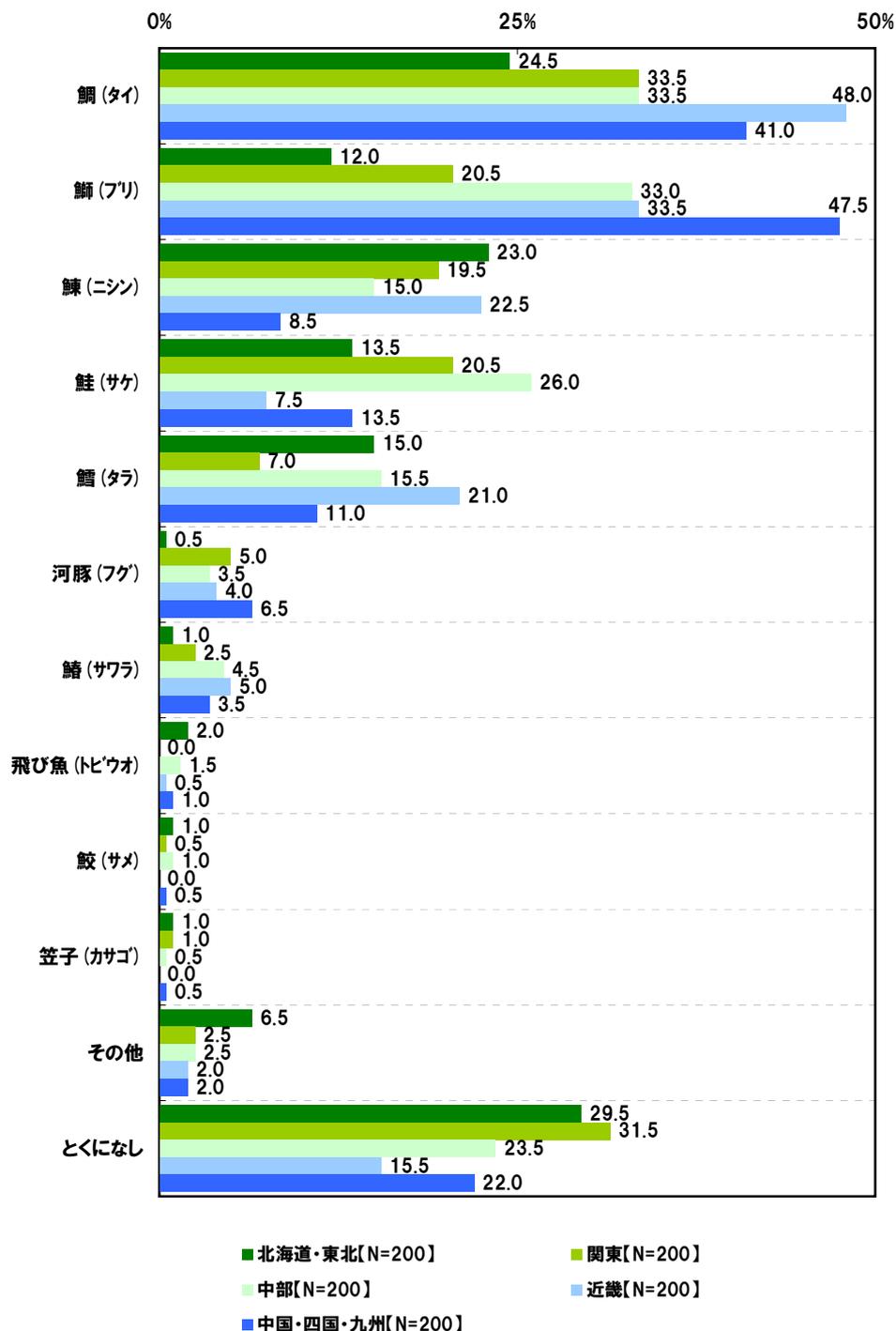


◆お正月料理に欠かせない魚(複数回答形式)
_全体

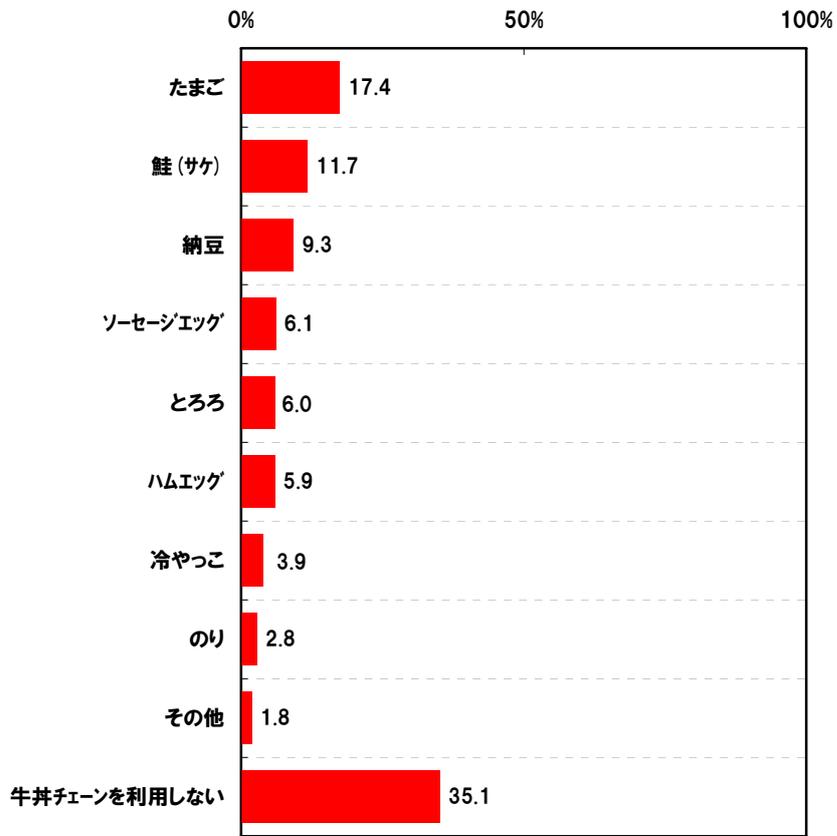


■ 全体[N=1000]

◆お正月料理に欠かせない魚(複数回答形式)
_エリア別

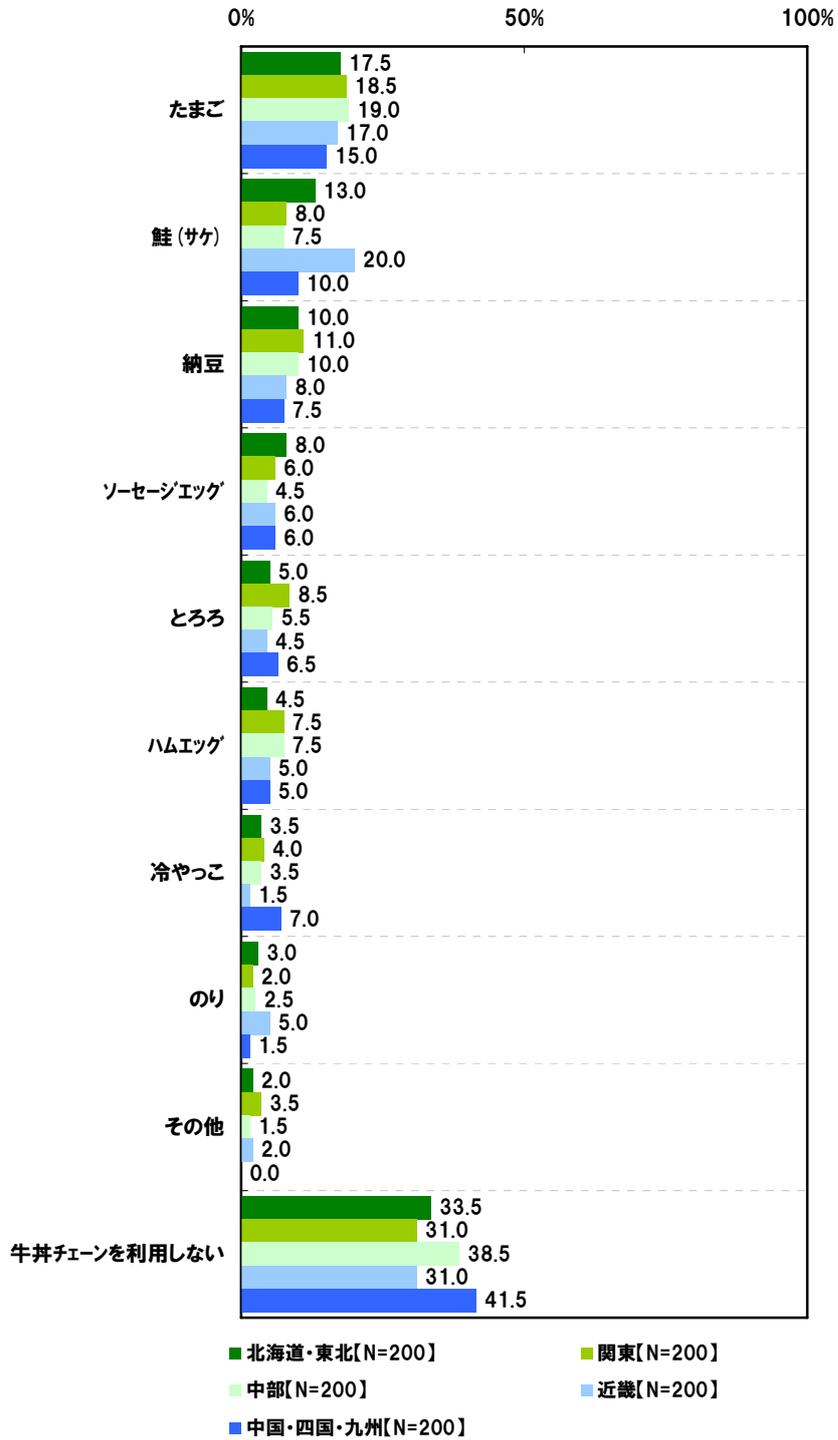


◆牛丼チェーン店の朝食サイドメニューのおかずで一番好きなもの(単一回答形式)
_全体

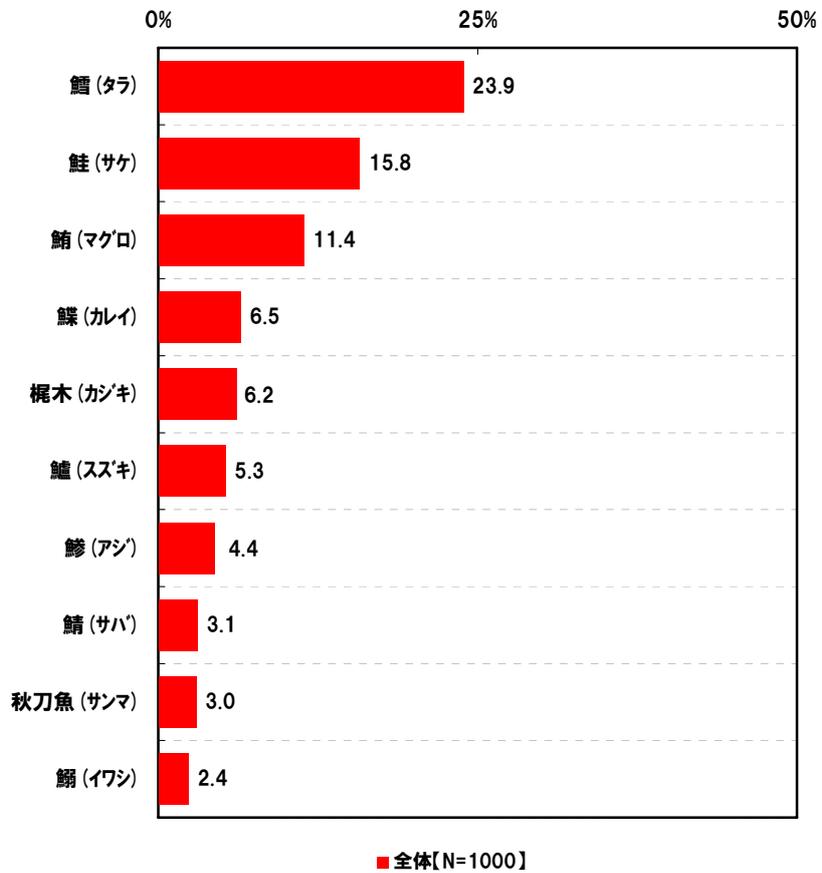


■全体【N=1000】

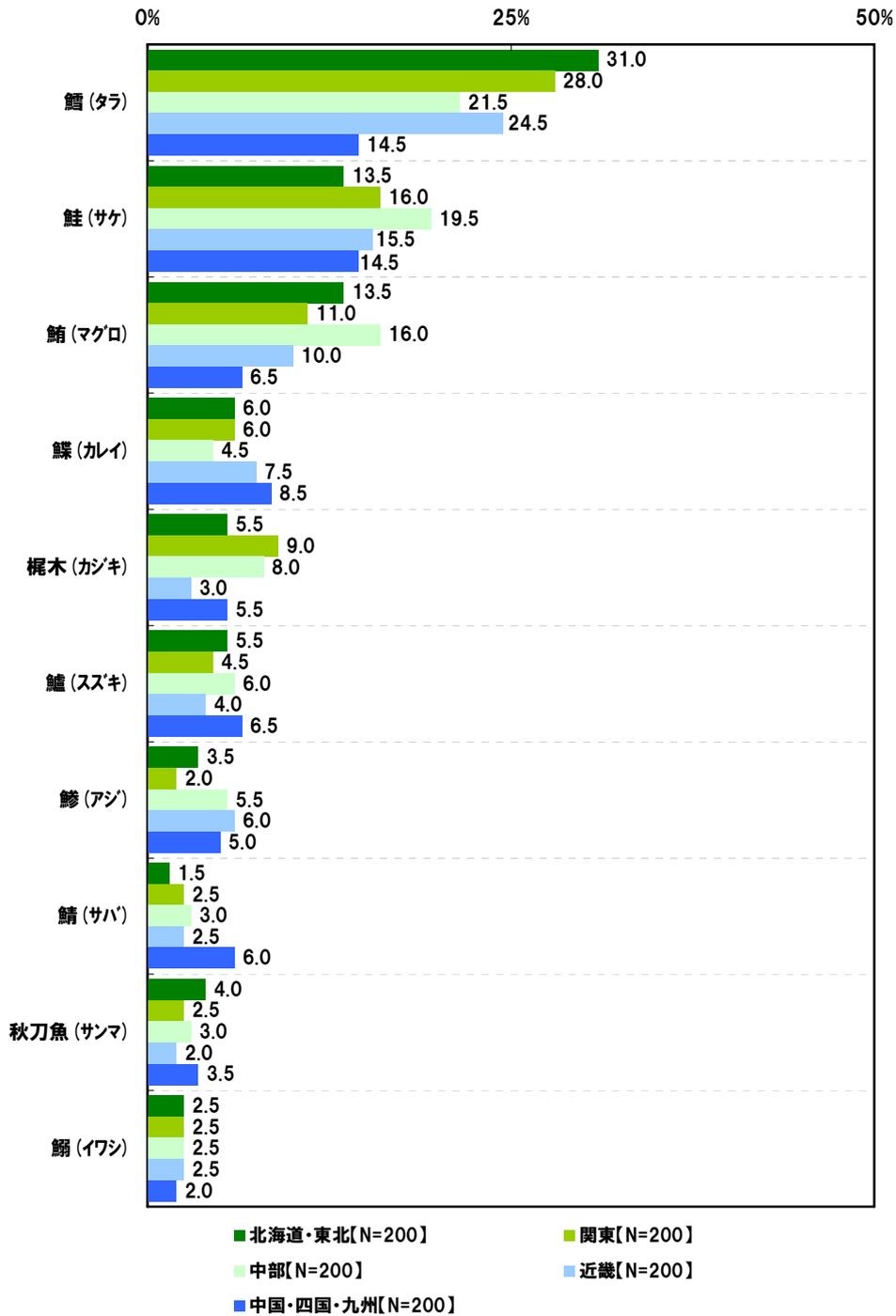
◆牛丼チェーン店の朝食サイドメニューのおかずで一番好きなもの(単一回答形式)
エリア別



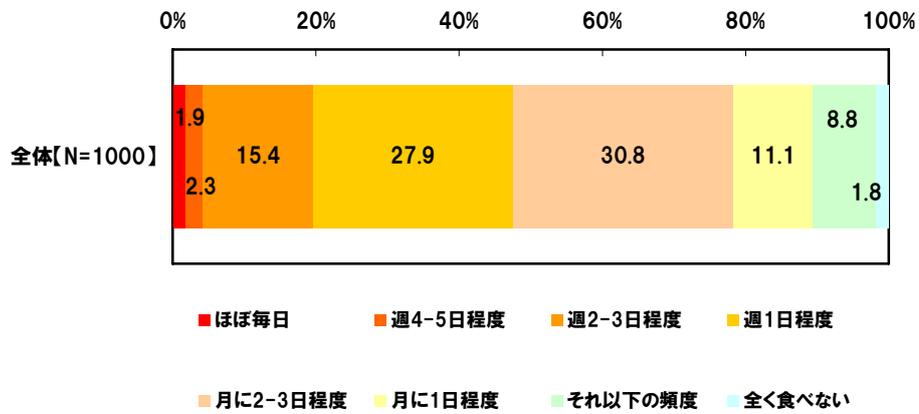
◆ハンバーガーチェーン店で食べたいと思うフィッシュバーガー
(複数回答形式)
全体
※上位10位までを抜粋



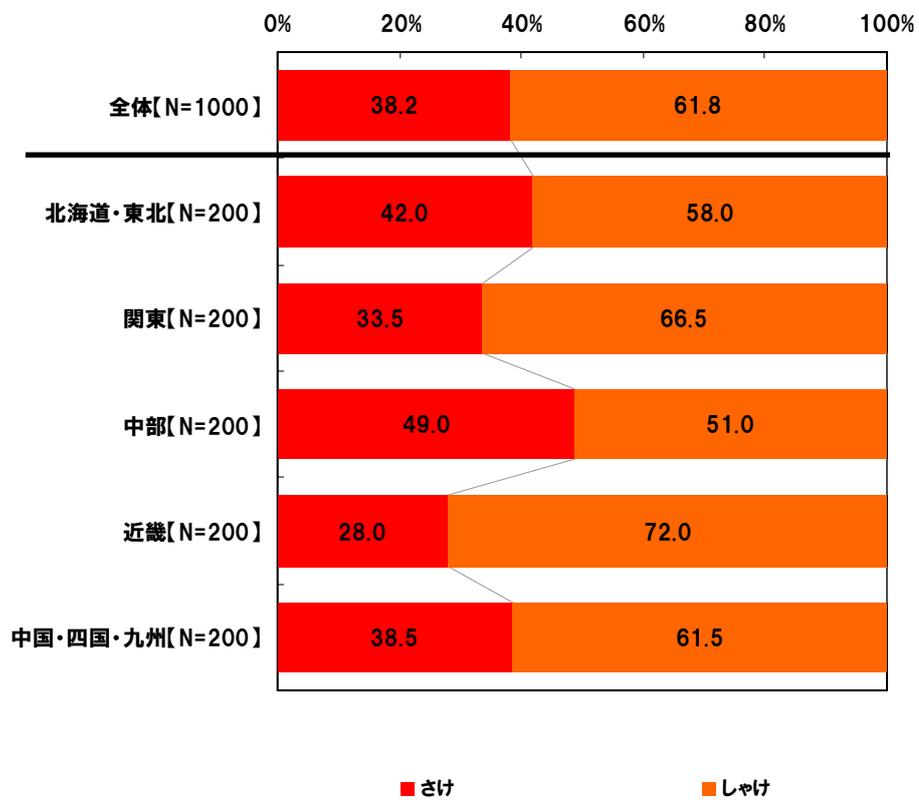
◆ハンバーガーチェーン店で食べたいと思うフィッシュバーガー(複数回答形式)
エリア別
※上位10位までを抜粋



◆鮭を食べる頻度(単一回答形式)



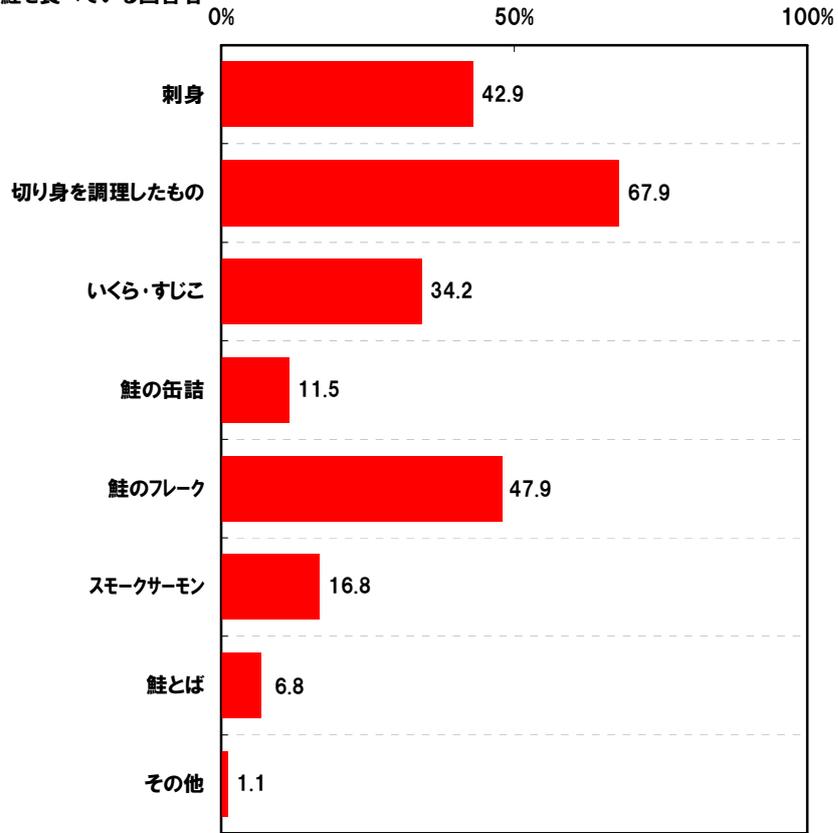
◆鮭の呼び名としてより頻繁に使っているもの(単一回答形式)
_全体・エリア別



◆食べている鮭の食品(複数回答形式)

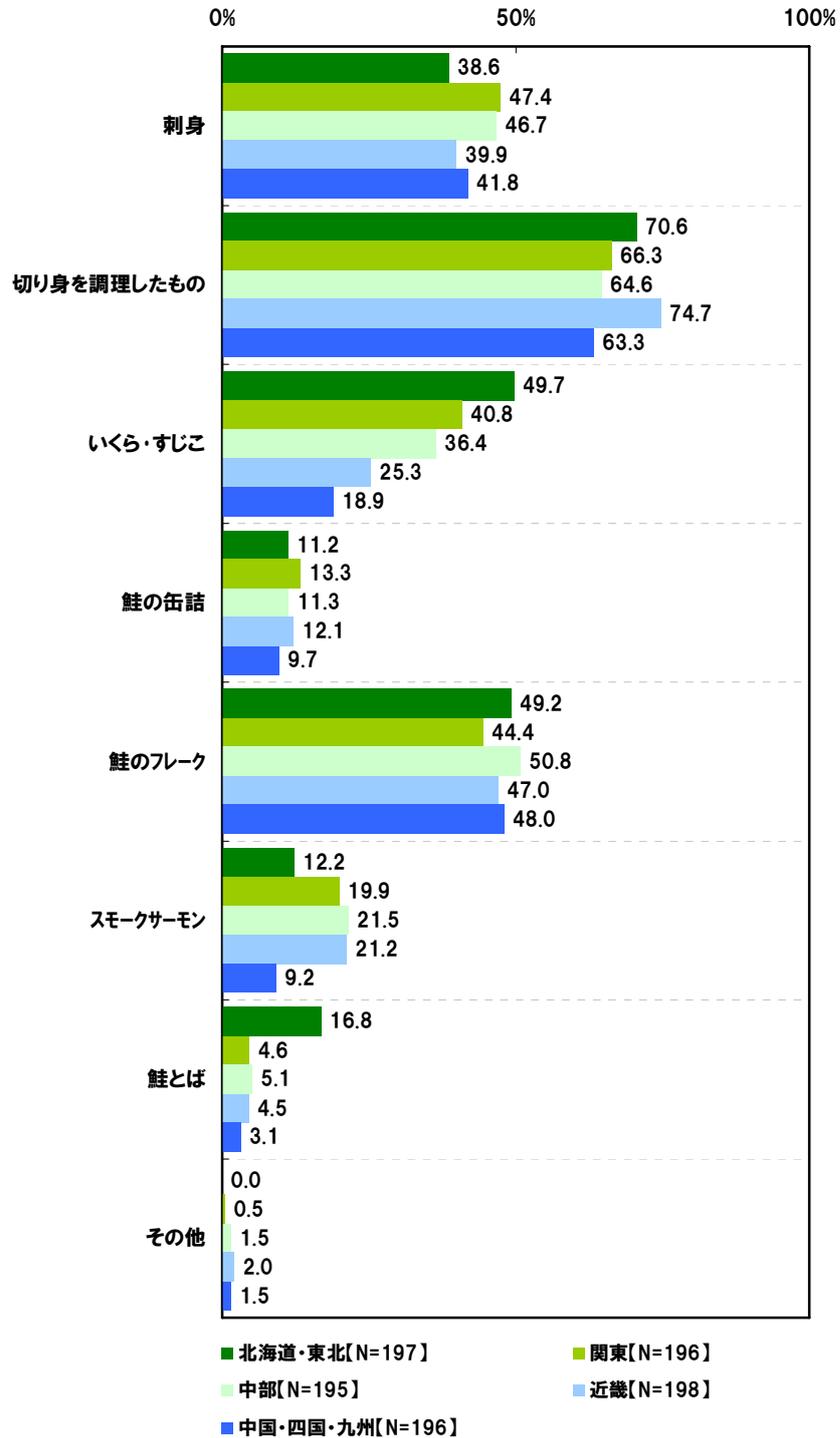
全体

※対象者:鮭を食べている回答者



■全体[N=982]

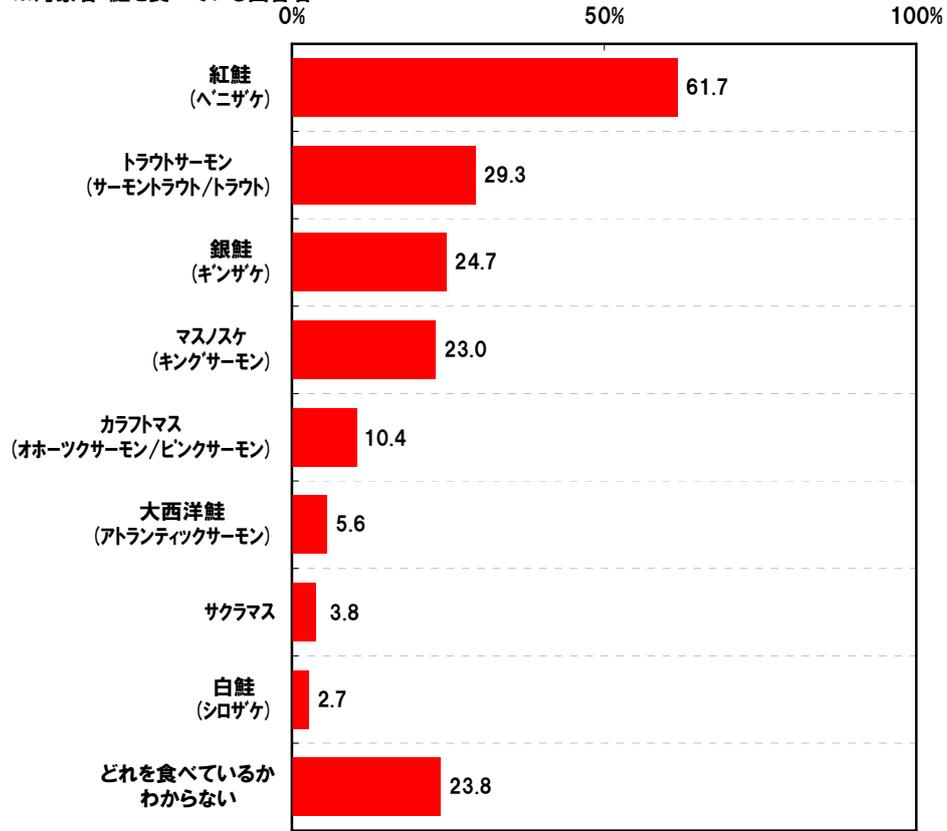
◆食べている鮭の食品(複数回答形式)
_エリア別
※対象者:鮭を食べている回答者



◆食べている鮭の種類(複数回答形式)

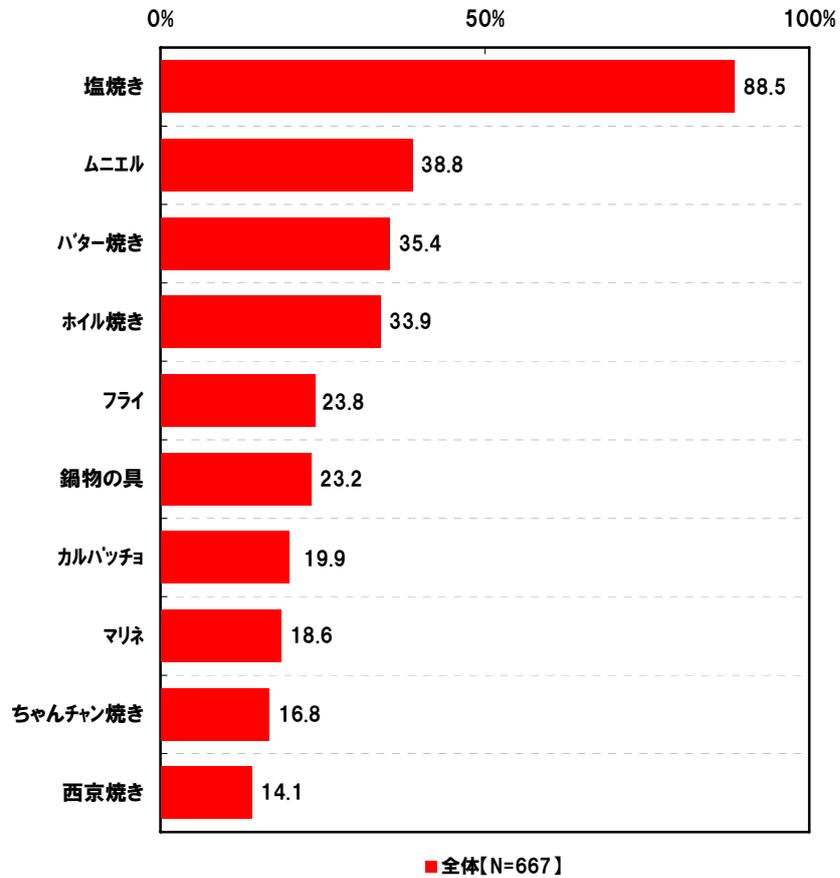
全体

※対象者:鮭を食べている回答者



■ 全体[N=982]

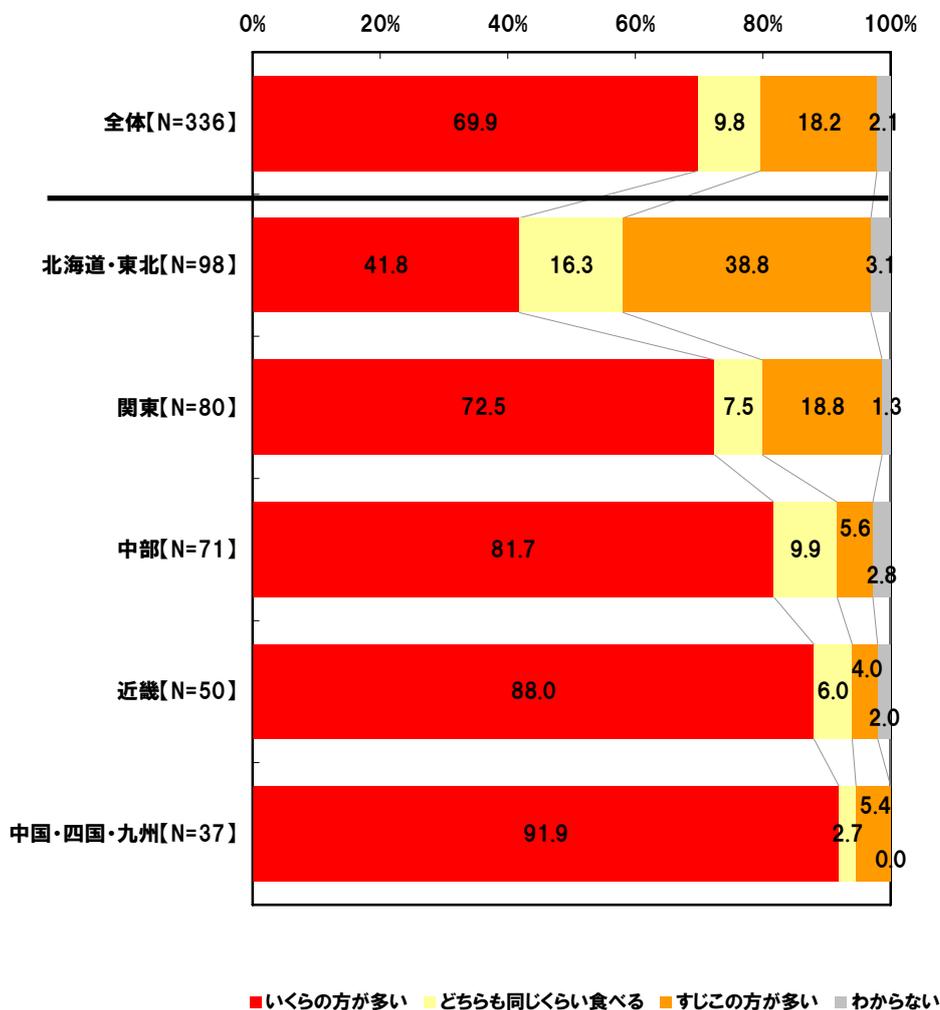
◆どのように調理された鮭を食べているか(複数回答形式)
 全体
 ※対象者:切り身を調理したものを食べている回答者
 ※上位10位までを抜粋



◆「いくら」と「すじこ」ではどちらを多く食べるか(単一回答形式)

全体

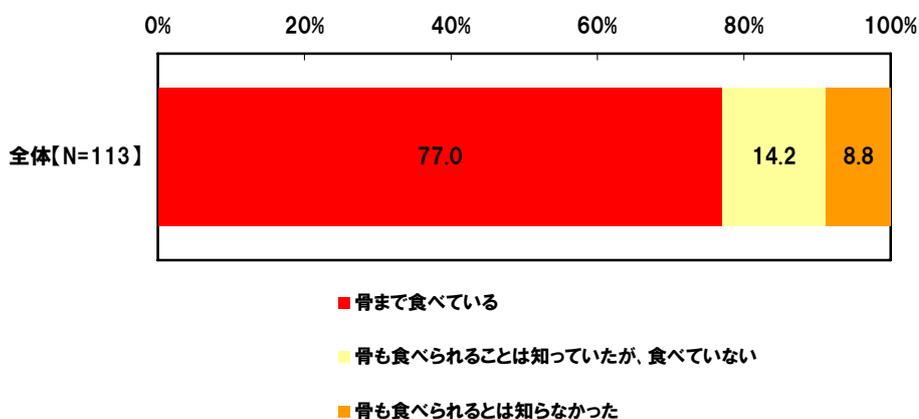
※「いくら・すじこ」を食べている回答者



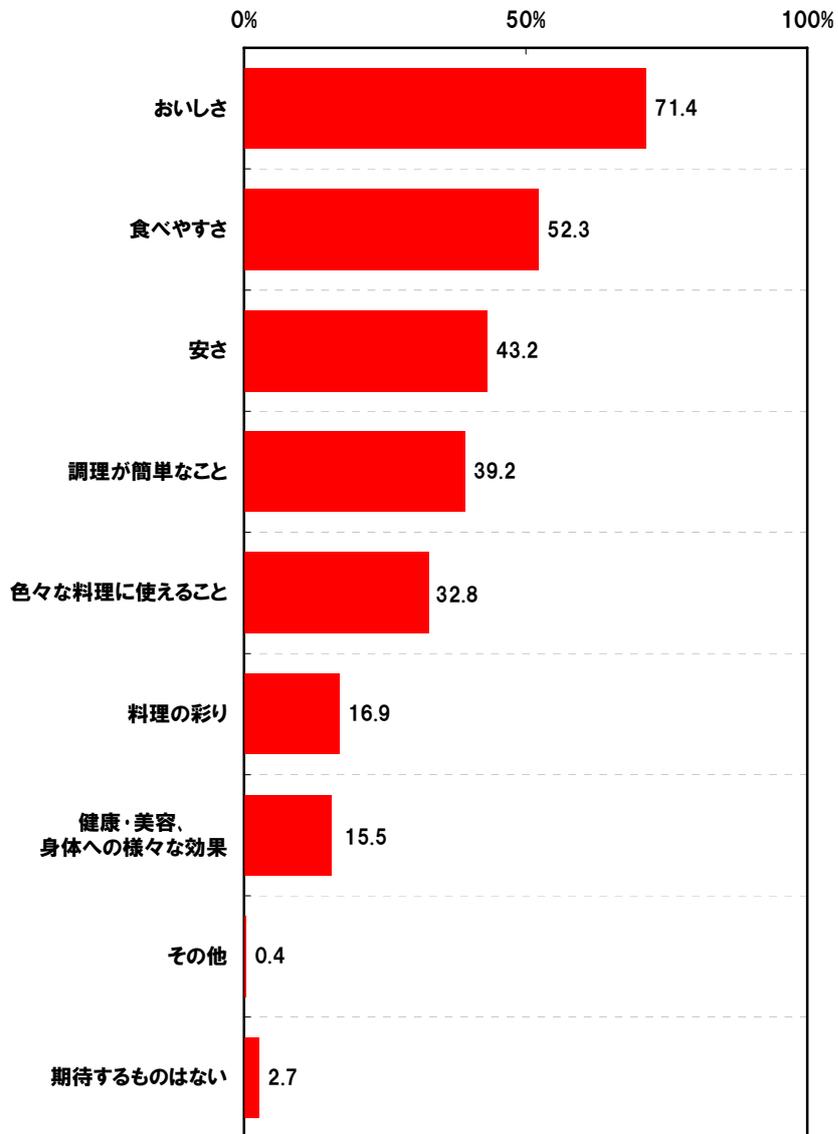
◆鮭の缶詰では骨まで食べているか(単一回答形式)

全体

※「鮭の缶詰」を食べている回答者

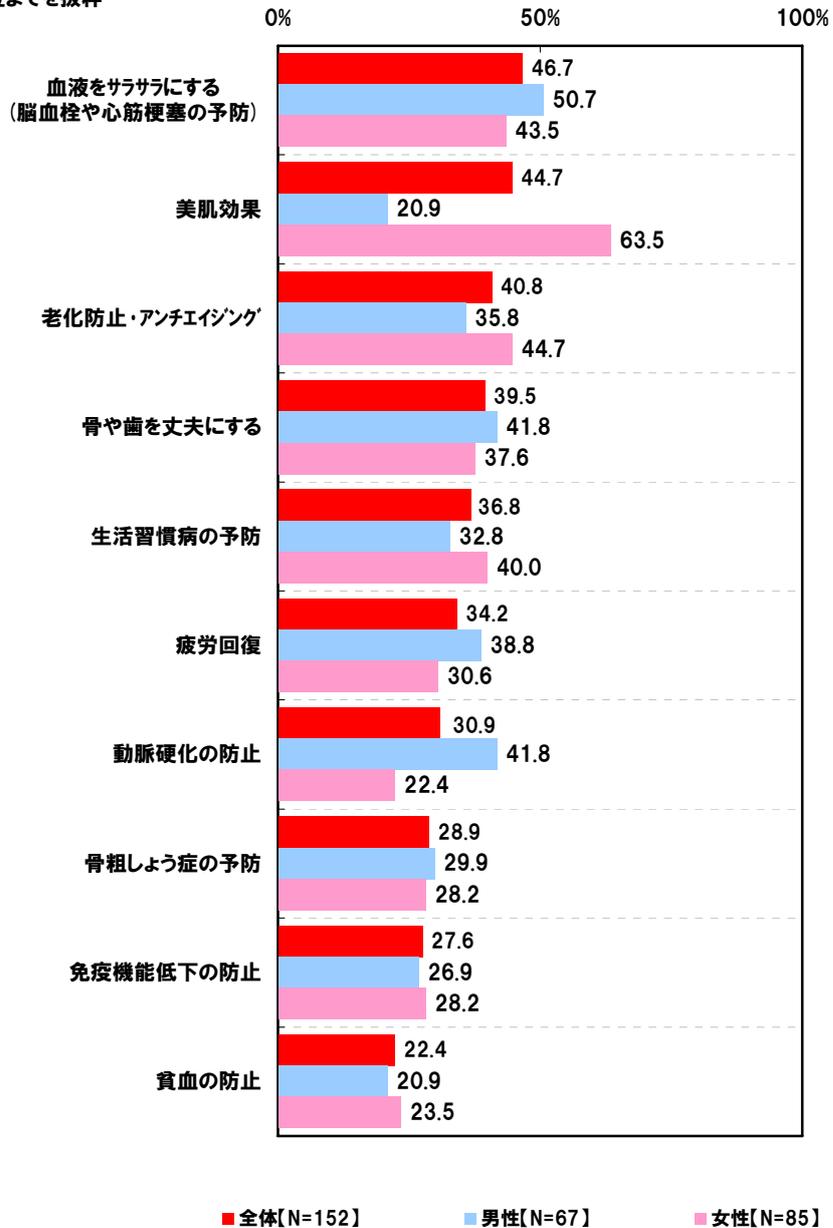


◆鮭に期待すること(複数回答形式)
_全体
※対象者:鮭を食べている回答者

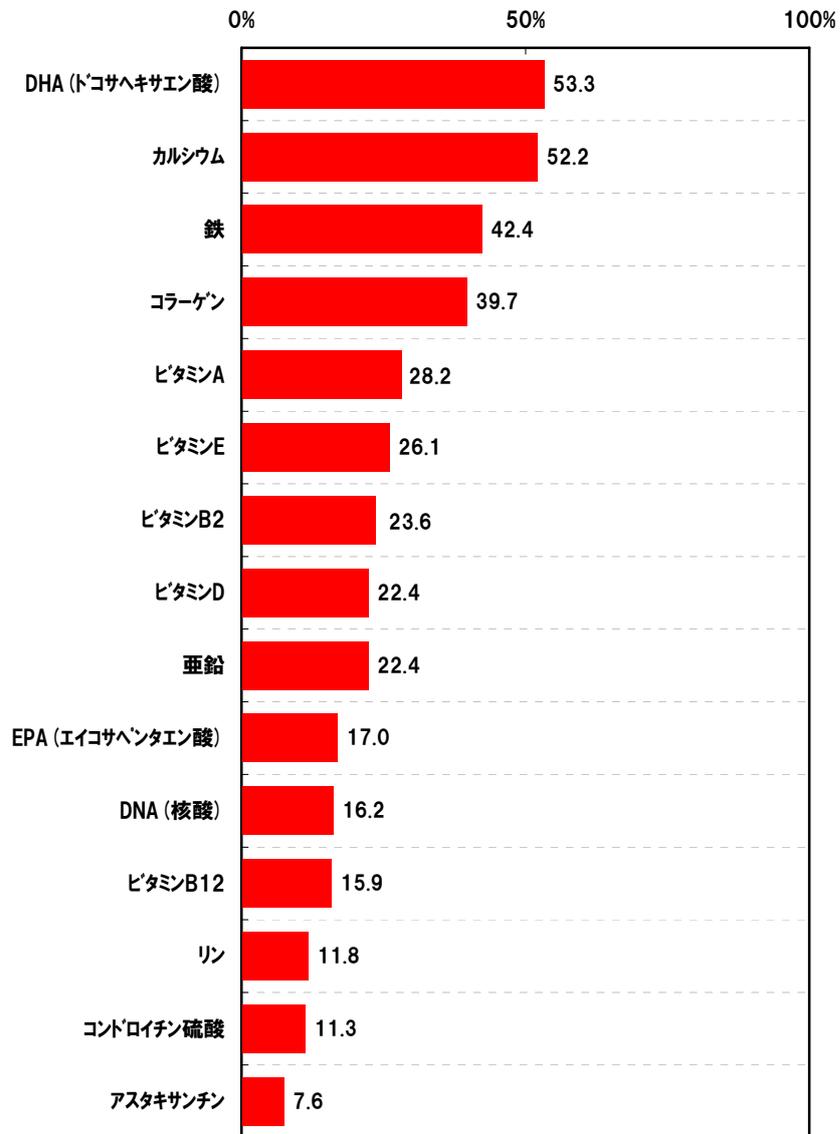


■全体【N=982】

◆「健康・美容、身体への様々な効果」として期待する具体的内容(複数回答形式)
 全体・男女別
 ※対象者:「健康・美容、身体への様々な効果」を期待している回答者
 ※上位10位までを抜粋

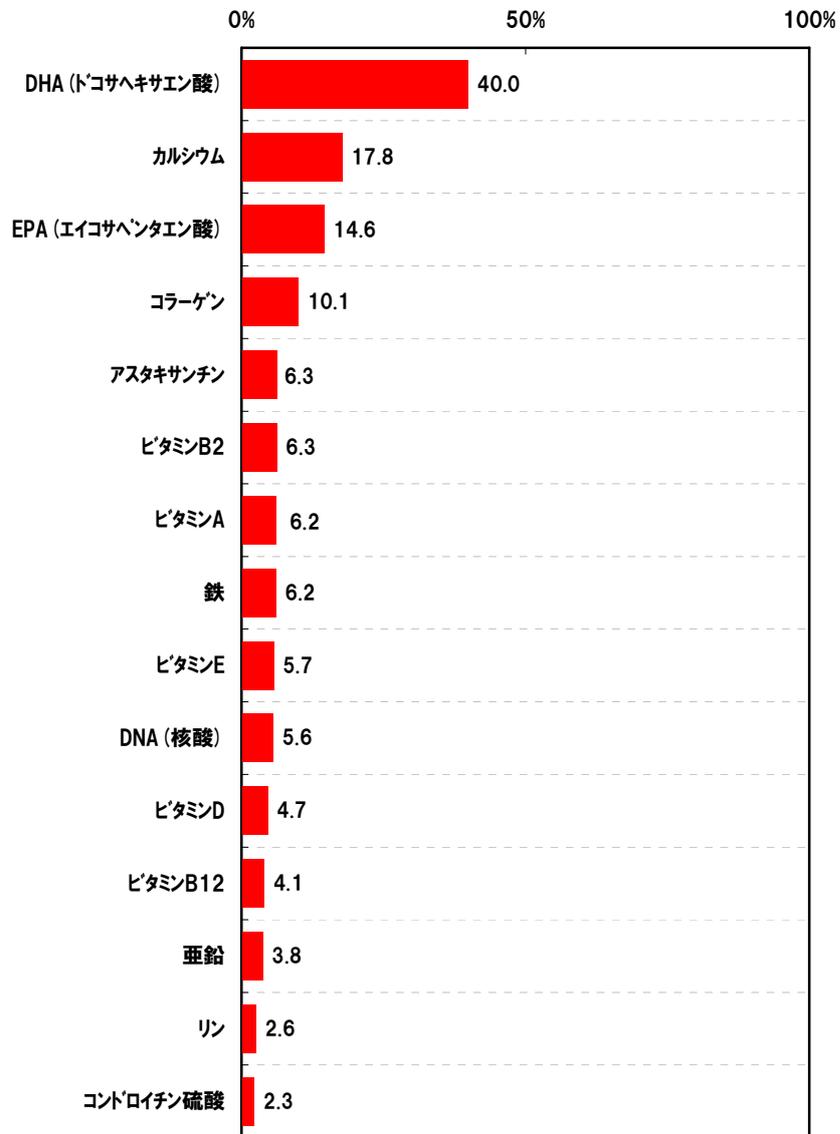


◆効能まで知っている栄養成分(複数回答形式)
_全体
※上位15位までを抜粋



■全体【N=1000】

◆鮭に含まれている栄養成分として知っているもの(複数回答形式)
_全体
※上位15位までを抜粋



■全体【N=1000】

(調査概要)

- ◆調査タイトル：鮭に関する意識調査
- ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
15歳以上の男女
- ◆調査対象者の内訳
男性
：北海道・東北（100名）関東（100名）中部（100名）近畿（100名）中国・四国・九州（100名）
女性
：北海道・東北（100名）関東（100名）中部（100名）近畿（100名）中国・四国・九州（100名）
- ◆調査期間：2010年11月14日～11月17日
- ◆調査方法：インターネット調査（モバイルリサーチ）
- ◆調査地域：全国
- ◆有効回答数：1,000サンプル（有効回答母数から1,000サンプルを抽出）
- ◆実施機関：ネットエイジア株式会社
〈調査協力会社：ネットエイジア株式会社（担当：吉田）〉

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「マルハニチロホールディングス調べ」と付記のうえ
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

株式会社マルハニチロホールディングス
TEL : 03-3216-0821
Eメール : koho@maruha-nichiro.co.jp
受付時間 : 9時00分～18時00分（月～金）

■■会社概要■■

代表者名 : 代表取締役社長 久代 敏男
設立 : 2004年4月
(2007年10月に、株式会社マルハグループ本社から
株式会社マルハニチロホールディングスに社名変更)
所在地 : 東京都千代田区大手町1-1-2
業務内容 : 水産事業、食品事業、畜産事業、保管・物流事業

会社および商品の詳細は <http://www.maruha-nichiro.co.jp/> をご覧ください。